

僕たちが4年間学んだ、その成果が卒業設計展。  
僕たちが悩み、考えてきたことの全てがここにある。



- 出展者名  
石川雅 ハシクサ  
矢口弥生 Place Of Activity  
黒柳あゆ美 weave ~マチをつなぐエキ~  
棟田祐加 fine view ~子吉川河川空間計画~  
高橋文 places - アクティビティ支援施設の提案 -  
新川晋悟 街の糸 川の糸 糸で編み込む 一枚の絵  
仁木智也 ハコ+α 繁華街はハコだけじゃ終わらない。  
高橋実岐 あるく であう ひるがる -本荘まちなかプロジェクト-  
加味根徹也 the line of new flow -由利組合総合病院跡地文化交流施設計画-  
中島有紀 奥ゆきのある一層 -金沢駅から武蔵が辻間をつなぐ地下街の計画-  
戸嶋恵子 a step to AKITA REVIVAL -コンバージョン住宅 & 都市型複合施設 -

- 担当教員 込山教司  
運営代表 石澤公明  
会計担当 高橋文  
会場担当 高橋実岐  
仁木智也  
棟田祐加  
広報活動担当 戸嶋恵子  
矢口弥生  
広報デザイン担当 石川雅  
加味根徹也  
新川晋悟

# OPEN CANVAS

僕たちの考えたこと。

日時  
3月17日(土)open11:00 18日(日)open11:00  
close19:00 close17:00

会場  
coco laboratory  
秋田市大町3丁目1-12  
川反中央ビル1F



秋田県立大学 卒業設計展 2007

# OPEN CANVAS

僕たちの考えたこと。

**001 ハシクサ**  
都市アミニティ工学講座 石川雅  
僕を誘うことは楽しいですか？  
寄り道は楽しくないですか？  
私は人が通るものとしての橋、その本来の意味を追求した。  
車を通さない。人が自分の足で渡る橋にした。そして、そこで人が足を止めるように人が寄り道を誘う橋の提案です。

**006 the line of new flow**  
- 由利組合総合病院跡地文化交流施設計画 -  
建築計画学講座 加味根徹也  
近年、由利本荘市では郊外への大規模店舗の進出に伴い、駅前商店街の衰退、中心市街地の空洞化や高齢化が進んでいる。そこで、中心市街地に位置する由利組合総合病院跡地に、新たな動線を導入することで、地域の活性化の拠点となる文化交流施設を提案する。

**008 weave**  
~マチをつなぐエキ~  
建築計画学講座 黒柳あゆ美  
現在、秋田県における人口減少は深刻な問題となっており、子供を産み、育てやすい環境づくりが重要な政策課題として取り上げられてきた。一方、人の集まる場としての駅の衰退も問題となっている。本計画ではこれら課題への対応策として、子育てサポートと駅の一休再生を試みた。

**011 places**  
- アクティビティ支援施設の提案 -  
建築計画学講座 高橋文  
近年、様々な活動や居方を考慮した施設を計画する事例が増えてきている。しかし、既存の街並に積極的に組み込まれる事例は少ない。本計画では、様々なアクティビティの場を既存の街並に計画し、活動を外部に向けて積極的に開くことで、新たなアクティビティを生む可能性を持つ「アクティビティ支援施設」の提案を試みる。

**019 あるく であう ひるがる**  
- 本荘まちなかプロジェクト -  
建築環境学講座 高橋実岐  
交通手段の移り変わりから、商業区・居住区共に地価の安い郊外へと離れ、かつての駅前商店街の活気ある姿は失われてしまった。本計画では、由利本荘市駅前地区に位置する由利組合総合病院跡地利用の一提案として、まちなか居住を目的とした集合住宅と、市民の活動の場となり、また高齢者と若年層の憩いの場となる複合施設を計画する。

**021 a step to AKITA REVIVAL**  
- コンバージョン住宅&都市型複合施設 -  
建築環境学講座 戸嶋恵子  
空洞化が激しい秋田県秋田市の中心市街地活性化に向け、オフィスビルから集合住宅へのコンバージョンを提案し、改修後の総合環境性能「CASBEE-改修」を用いて評価する。また、集合住宅に隣接の敷地内に、まちなか居住の拠点となる複合施設を設計する。

**022 奥ゆきのある一層**  
- 金沢駅から武蔵が辻間をつなぐ地下街の計画 -  
建築計画学講座 中島有紀  
石川県金沢市では近年、金沢駅周辺に新たな商業施設等が建設されつつある。同市の市街地は駅から約2km離れており、市街地へ足を運ぶ人が減少することも危惧されている。そこで、金沢駅に訪れた人が市街地まで安全、快適に移動でき、ただ通るだけでなく地下としての空間のおもしろさを感じられるような地下街を提案する。

**025 街の糸 川の糸**  
糸で編み込む 一枚の絵  
建築環境学講座 新川晋悟  
持続可能な地球環境のために街と川との関係はどうかあればよいのか。本設計では、「水辺のまち」と称される由利本荘市と市内を流れる子吉川とのほどけかけた糸を編み込み、川辺のまちの風景として本荘市民によるエココミュニティ活動の拠点を提案する。

**026 ハコ+α**  
- 繁華街はハコだけじゃ終わらない。 -  
建築計画学講座 仁木智也  
建物内部において繁華街特有の賑わいや怪しさを人々に感じさせる。画一的である既存のビルの店舗と通路の関係を見直すことで、店舗の雰囲気や外部に溢れ出るスペースをより多く確保する。それぞれの店舗の雰囲気が影響を及ぼし合いながら、賑わいや怪しさを建物内部において共有していくことができるのではない。

**034 fine view**  
~子吉川河川空間計画~  
建築計画学講座 棟田祐加  
建築と風景との関係や外部空間のデザインは、設計する上で重要なテーマであり、これまで様々な試みが行われてきた。しかしながら、特に近代建築以降、建築と風景は主従の関係で捉えられる場合が多かったと言わざるを得ない。もっと積極的に風景と関わるデザインはできないだろうか。

**035 Place Of Activity**  
建築計画学講座 矢口弥生  
本計画では、「壁の重なりとずれ」をキーコンセプトとした、様々な活動が滞在する場所に壁は視線を隔てるだけでなく、同時に、ある方向性を持って活動を開く。独立性と連続性との共存を壁の構成によって、複数の活動が見え隠れする空間を提案する。

お問い合わせ先→卒業設計展運営委員会代表 石澤公明 E-mail: h05000@akita-u.ac.jp